

### 3. 公民

科目	現代社会	単位数	2	区分	必履修
教科書・教材	実教出版 『最新 現代社会 新訂版』	配当年次			1年次
<b>授業のねらい・概要</b>					
広い視野に立って現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、判断力を持った社会人となるよう、必要な能力と態度をもてるようにする。					
<b>授業の進め方</b>					
授業ごとにプリントを用意するので、説明をうけながら完成させる。					
		<b>学習の内容</b>		考查	時数
前期	4月	青年期と自己形成（大衆社会・ネットとメディア・個人と社会生活・豊かさとは）		中間	17
	5月	経済分野（貨幣の役割・クレジットカードや電子マネー）			
	6月	"（経済と景気・財政政策・金融政策・為替相場）			
	7月	"（市場の働き・株式会社の仕組み・企業の社会的責任）			
	8月	"（産業構造と働き方の変化）		期末	
9月	"（流通の変化と小売の工夫）				
後期	10月	政治分野（人権思想の発達と憲法）		中間	17
	11月	"（日本国憲法の三大原則・新しい人権）			
	12月	"（同上）		期末	
	1月	"（三権分立・選挙の仕組みと政党政治・マスコミと世論）			
	2月	"（国家財政・地方自治と地方財政）			
<b>評価の方法</b>					
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況などを総合的に判断する。					
<b>備考</b>					

科目	政治経済	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	実教出版 『最新 政治・経済 新訂版』	配当年次			4年次
<b>授業のねらい・概要</b>					
現代社会で学んだ内容を基礎に、経済の仕組みや国内及び国際政治の諸事項について、具体的な事例や時事的な内容を参考にしながら学ぶ。					
<b>授業の進め方</b>					
政治・経済・世界情勢などにかかわる問題を、様々な資料を利用し、こうした諸問題の背景や現状などを探りながら今後への展望を考察していく。					
		<b>学習の内容</b>		考查	時数
前期	4月	現代国家と民主政治・日本国憲法と基本的人権		中間	17
	5月	"			
	6月	日本の政治制度と政治参加			
	7月	"		期末	
	8月	現代の国際政治			
9月	日本の平和主義と国際平和				
後期	10月	経済社会の変容		中間	17
	11月	現代経済のしくみ			
	12月	"		期末	
	1月	現代の日本経済と福祉の向上			
	2月	現代の国際経済			
<b>評価の方法</b>					
平常の授業態度(出席状況)・定期考査・課題の提出状況などを総合的に判断する。					
<b>備考</b>					
ニュースを分かりやすく解説する番組がいくつかあるので、できるだけ見ること。					

科目	ベーシック社会	単位数	1	区分	選択	
教科書・教材	自作教材等			配当年次	4年次	
授業のねらい・概要						
中学校段階の地歴・公民の基礎的事項についての理解・定着をはかる。						
授業の進め方						
前年度までに学んだ社会科に関する内容を中心に、毎日1枚プリント学習を行う。						
		学習の内容			まとめ	時数
前期	4月	地理分野の基礎事項			無	40
	5月	地理分野の基礎事項				
	6月	地理分野の基礎事項				
	7月	(前半) 地理分野の基礎事項 (後半) 歴史分野の基礎事項			有	42
	8月	歴史分野の基礎事項				
9月	歴史分野の基礎事項					
後期	10月	歴史分野の基礎事項			無	38
	11月	(前半) 歴史分野の基礎事項 (後半) 公民分野の基礎事項				
	12月	公民分野の基礎事項			有	40
	1月	公民分野の基礎事項				
	2月	公民分野の基礎事項				
評価の方法						
毎回の出席・プリント提出状況・期末考査結果を総合的に判断して評価する。						
備考						

## 2. 地理・歴史

科目	地理A	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	帝国書院『高等学校 新地理A』 帝国書院『標準高等地図-地図でよむ現代社会-』			配当年次	2年次
<b>授業のねらい・概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本を含む世界各地の生活環境の特色を理解する。</li> <li>現代世界の地理的な課題を考察し、国際社会で生きていくための考え方を身につける。</li> </ul>					
<b>授業の進め方</b>					
教科書の内容に準拠する演習ノートに沿って学習を進める。併せて地図の読図や作図、資料の読み取りなどの作業学習も行う。					
		<b>学習の内容</b>		考查	時数
前期	4月	日本の地理（都道府県・農業）		中間	17
	5月	日本の地理（漁業・工業）			
	6月	地図と読図（地図図法・地形を知る）			
	7月	地図と読図（領土問題）			
	8月	時差		期末	
9月	世界地図（地域・地形の名称） 気候（風・気温・降水）				
後期	10月	気候（世界の気候区） 生活と環境（熱帯の生活）		中間	17
	11月	生活と環境（乾燥帯の生活・温帯の生活・冷帯の生活）			
	12月	世界の農業 村落と都市		期末	
	1月	地域を知る（中国・韓国）			
	2月	地域を知る（ヨーロッパ・アメリカ）			
<b>評価の方法</b>					
出席状況・授業態度・定期考査・授業プリントの提出状況等を総合的に判断する。					
欠課時数が多い場合には、単位認定のための補講を実施する。					
<b>備考</b>					
日本史Aとの選択必修					

科目	世界史A	単位数	2	区分	必修
教科書・教材	実教出版『新版 世界史A』			配当年次	3年次
<b>授業のねらい・概要</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>近現代史を中心とする世界の歴史を我が国の歴史と関連させながら、世界の成り立ちを学ぶ。</li> <li>現代世界における様々な問題の背景を、世界各地の歴史を通じて考える。</li> </ul>					
<b>授業の進め方</b>					
授業内容に関するプリントを用意するので、そのプリントを中心に学習を進める。併せて史料の読み取りや、年表の作成などの作業学習も行う。2年次の地理Aの授業で使用した地図帳を用意することが望ましい。					
		<b>学習の内容</b>		考查	時数
前期	4月	紀年法・世界地理の復習と世界各地の古代史		中間	17
	5月	世界各地の中世史			
	6月	一体化に向かう世界と日本（近代ヨーロッパ）			
	7月	"（イスラム世界と明・清）			
	8月	ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動（17～18世紀の世界）		期末	
9月	"（19世紀の世界）				
後期	10月	現代世界のあゆみ（第一次世界大戦前後の世界）		中間	17
	11月	"（第二次世界大戦前後の世界）			
	12月	第二次世界大戦後の世界（冷戦・第三勢力の結集・世界の多極化）		期末	
	1月	"（冷戦の終結・冷戦後の世界）			
	2月	"（21世紀の世界）			
<b>評価の方法</b>					
出席状況・授業態度・定期考査・授業ノートと課題プリントの提出状況等を総合的に判断する。					
欠課時数が多い場合には、単位認定のための補講を実施する。					
<b>備考</b>					

科目	日本史A	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	実教出版『新日本史A 新訂版』			配当年次	4年次
<b>授業のねらい・概要</b>					
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させて歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
<b>授業の進め方</b>					
授業内容に関するプリントを用意するので、そのプリントを中心に学習を進める。併せて史料の読み取りや年表の作成などの作業学習も行う。					
		<b>学習の内容</b>		考查	時数
前期	4月	近代国家と社会の形成（開国～明治維新）		中間	17
	5月	"（日本の近代化）			
	6月	二つの戦争と大日本帝国（日清・日露戦争）			
	7月	"（帝国形成期の社会）			
	8月	帝国とデモクラシー（大正デモクラシー）		期末	
9月	デモクラシーの展開と帝国の変容（1920年代の世界と日本）				
後期	10月	"（アジアの戦争と第二次世界大戦（日中十五年戦争）		中間	17
	11月	"（アジア太平洋戦争）			
	12月	"（アジア太平洋戦争）		期末	
	1月	現代日本の源流（冷戦前期の世界と日本）			
	2月	冷戦のなかの経済成長・現代の日本			
<b>評価の方法</b>					
出席状況・授業態度・定期考査・授業ノートと課題プリントの提出状況等を総合的に判断する。					
欠課時数が多い場合には、単位認定のための補講を実施する。					
<b>備考</b>					
地理Aとの選択必修					